



複写 NEWS

No.259 平成27年 6月 1日発行

TABLE OF CONTENTS

「第 52 期通常総会」「懇親会」開催	3
近畿複写産業協同組合第 52 期総会懇親会挨拶	5
新役員ご挨拶	6
懇親会ご歓談の様子	9
近畿複写産業協同組合理事長退任のご挨拶	12
激動の 30 年を迎えて	15
JP2015 情報・印刷産業展	16
キヤノン S&S IT Solution Forum2015 in 大阪開催	19
ほっと一息 “抹茶のレアチーズケーキ”	21
組合日誌	22

「第 52 期通常総会」「懇親会」開催

第 52 期通常総会開催報告

平成 27 年 6 月 3 日近畿複写産業協同組合「第 52 期通常総会並びに懇親会」を大阪ステーションシティ ラグナヴェールプレミアにて、開催致しました。

1. 開催通知の年月日及びその方法 平成 27 年 5 月 11 日

文書を各組合員に発して通知した。

1. 開催の日時 平成 27 年 6 月 3 日 午後 4 時

1. 開催場所 大阪市北区梅田 3-1-3 ラグナヴェールプレミア 28F

1. 理事・監事の数及び出席理事・監事並びにその出席方法

理事数 12 人 出席理事数 12 人

監事数 2 人 出席監事数 2 人

1. 組合員数 60 人

1. 出席者数 60 人(本人出席 31 人、委任状出席 29 人)

1. 出席理事及び役員の氏名 楠本雅一、福味正俊、桑田靱比古、巽充雄、満田創、河村武敏 山脇雅則、日笠宏昭、関雅夫、佐々木洋之、田中義雄、藤島映一

1. 出席監事の氏名 浅見善和、田畑保英

1. 議長 楠本 雅一

1. 議事録の作成に係わる職務を行った理事の氏名 巽充雄

1. 議事の経過の要領及びその結果

定刻に至り司会者 満田創は、本総会の出席者数を報告、適法に成立する旨を告げ、議長の選出について議場に諮ったところ楠本雅一が選任された。次いで楠本雅一は議長席につきただちに議案の審議に入った。

第 1 号議案 第 52 期(平成 26 年度)決算書類承認の件

議長は、満田創に平成 26 年度(自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日)における当組合の事業状況を詳細に報告させ、下記の書類を提示してその承認を求めた。

1. 事業報告書
2. 財産目録
3. 貸借対照表
4. 損益計算書
5. 剰余金処分案

次いで、監事浅見善和 は上記の書類を綿密に調査したところ、いずれも正確かつ適切であることが認められた旨を報告した。

満場一致で第 1 号議案を可決承認した。

第 2 号議案 第 53 期(平成 27 年度)の事業計画及び収支予算承認の件

議長は、満田創に次年度の事業計画及び収支予算を詳細に説明させた後、その可否を議場に諮ったところ、満場一致で第 2 号議案を可決承認した。

第 3 号議案 賦課金の額、その徴収の時期及び方法決定の件

議長は、満田創に定款により総会にて承認を得る事項で有る旨を説明させ、承認を議場に諮ったところ満場一致で第 3 号議案を可決承認した。

第 4 号議案加入手数料決定の件

議長は、満田 創に組合加入時の手数料について説明させた後、加入手数料については、前期同様 10,000 円にし



たい旨を議場に諮ったところ満場一致で第7号議案を可決承認した

第5号議案 役員改選の件

議長は、本組合の平成25年5月29日就任の理事及び監事全員は任期満了により、その改選を行いたい旨を述べ、満田創よりその方法として指名推選制をとりたい旨を説明し、一同これに賛成した。議長は、指名推選制の賛成を得たので選考委員の選出方法を議場に諮ったところ、議長一任と決定した。議長は、選考委員に桑田靱比古、佐々木洋之を指名し、選考委員は別室において選考に入った。選考の結果、次の者が指名推選された旨選考委員長から報告された。

理事 河村 武敏

同 楠本 雅一

同 福味 正俊

同 満田 創

同 日笠 宏昭

同 桑田 靱比古

同 巽 充雄

同 山脇 雅則

理事 藤田 知子

同 田中 義雄

同 関 雅夫

同 佐々木 洋之

同 小野 正治

同 鶴井 宏尚

監事 浅見 善和

監事 阪木 道夫

議長は、上記被指名人をもって当選人とするかどうかを議場に諮ったところ全員異議なく可決承認した。なお、当選者は即時就任を承諾した。尚、当日欠席の巽充雄は、後日就任を承諾した。

以上をもって第52期通常総会の議案全部の審議が議了したので、16:20 閉会した。

総会参加者集合写真



近畿複写産業協同組合第 52 期総会懇親会挨拶

「次世代の組合基盤の構築へ向けて」

近畿複写産業協同組合
第九代理事長 河村武敏



2015 年 6 月 3 日に近畿複写産業協同組合第 52 期通常総会が、ラグナヴェールプレミアにて開催されました。本総会におきまして理事の改選が行われ、定款に則って新理事が選任されました。選任された理事の互選により第九代理事長の御推挙をいただきました。微力ではありますが組合の歴史を踏まえ、しっかり継続発展できるよう誠心誠意努めて参る所存です。組合員様・賛助会員様のご指導、ご協力、ご支援を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

前楠本理事長は八代目理事長として、東日本震災後の激変の経済環境の中、2 期 4 年間在任し積極的な活動を展開されました。2013 年 5 月 29 日に開催された組合設立 50 周年の「感謝の集い」では、しっかり歴史に刻むべき記念事業として開催されたことが、今も鮮明に記憶に残っています。そして次なる 50 年に向けて歩を進めようとする今、組合創設のきっかけでもあったジアゾビジネスが、来年 2016 年 3 月をもって感光紙の供給が終焉するという大きな節目を迎えています。この機会に温故知新、感光紙と組合の歴史をひも解いてみました。

1907 年 東京青写真工業所にて、感光紙の製造が始まる

1920 年 河村青写真調整所にて、感光紙の製造を関西で始める

戦後、大手資本による感光紙の製造メーカーとして、リコー・コピー（現キヤノンシステムアンドサポート）・山本商会（現ダイヤミック）に加え、三田、コクヨ等が参入し販売競争が激化、焼付価格についても競争の時代に突入する

1953 年 大手または古くからの業者が中心となり、近畿青写真協会が発足

1963 年 近畿工業写真協同組合（法人化）が発足、1985 年に現在の近畿複写産業協同組合に名称変更し現在に至る

1966 年 富士ゼロックスより、X-914・X-1860 という小型・大型電子複写機が発売され、トナー方式による PPC 時代の幕開けが始まる

1984 年 キヤノンがカラー PPC を発売、本格的なカラー PPC 時代の幕開けとなる

1993 年 近畿複写産業協同組合 30 周年の合同記念式典を、大阪ヒルトンホテルで盛大に開催（五代目・六藤正治理事長）

2013 年 近畿複写産業協同組合 50 周年の「感謝の集い」を、ラグナヴェールプレミアで盛大に開催（八代目・楠本雅一理事長）

2016 年 3 月に、感光紙の供給が終了予定、109 年の感光紙の歴史に幕を閉じる

（出典：近畿複写産業協同組合 30 年史より）

私がこの業界にお世話になったのが、1990 年になります。1990 年～2000 年は、いわゆるバブル崩壊後の失われた 10 年、複写機メーカーもこぞってデジタル機器を開発し、お客様のオフィスワークが当時の OA 化によって、大きく変わりました。それにより複写ビジネスにおいてもお客様の内製化が進み、価格競争が一層激化しました。印刷の世界では 1984 年にポストスクリプト技術が開発され同時に Macintosh が発売、その後 LBP・デジタル複合機・タイプセッターとの RIP 連携により、2 バイトコードの日本語組版においても画期的な技術革新が起き、同時に 1995 年に POD の先駆けであるドキュテックが日本でも発売になり、複写業界と印刷業界の業際がデジタル技術により一気になくなりました。

そして 2000 年頃からインターネット技術が急速に普及、マスから個へインターネット通信革命によるコミュニケーションの多様化が一層加速し、大量生産から個別生産へと、まさに我々が得意とする少量生産へ時代が動きました。そして 2010 年頃から、モバイル環境がスマートフォンにより一気に進み、モバイル・SNS・ビッグデータ等、世の中のコミュニケーションのスピードは、とどまることがありません。

そのような中、私たちがお客様へ提供するサービスを考えたとき、長い歴史の中で環境は激変していますが、我々には歴史あるジアゾサービスの原点である、大量生産ではなく個別生産で柔軟に対応してきた顧客基盤が存在するはずなのです。ただし、お客様へ提供するサービスに知恵と工夫が要求されるので、画一的なサービスでは競争力はありません。

経営者がそこに気づき、メーカー・同業界・他業界の仲間と、既成概念を振り払い、新しい一步を踏み出せるかが、重要になってきているように思います。今こそ新しい一步を踏み出す変化とチャンスの時期ではないかと考えます。

このたびの新しい体制の元、新理事 2 名と新監事 1 名を迎え、新しい風を組合活動に吹き込んでいきたいと考えています。そして次世代のサービスビジネスの可能性に向けて、賛助会員・メーカー各社との互惠関係により、業界の見える化に取り組んでいければと考えています。

理事メンバーの役割や体制については、次の「複写 NEWS」で改めてお伝えしたいと思います。来年には複写連近畿大会の開催も控えています。是非組合という集まりの場を通じて、会員各社の実のあるサービスビジネスについてご提示できるよう、「次世代の組合基盤の構築」に向け、理事・監事・事務局メンバー一同しっかりと取り組んで参りますので、改めて組合員様・賛助会員様のご指導、ご協力、ご支援を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

第 53 期・54 期 近畿複写産業協同組合 役員・事務局一同（順不同）

理事長 河村武敏 副理事長 楠本雅一 副理事長 福味正俊

副理事長 満田創 専務理事 日笠宏昭 理事 桑田靱比古 理事 巽充雄

理事 山脇雅則 理事 藤田知子 理事 田中義雄 理事 関雅夫 理事 佐々木洋之

理事 小野正治 理事 鶴井宏尚 監事 浅見善和 監事 阪木道生

事務局長 小野恵美子 事務局 佐藤由美 以上理事 14 名、監事 2 名、事務局 2 名合計 18 名

富士ゼロックス西日本㈱米山様より頂戴致しました。御礼申し上げます。



新役員ご挨拶



今期をもちまして理事長職を河村武敏君に引き継ぎました。2 期 4 年のあいだ微力な理事長を支えていただきました組合員様、賛助会員様には心から御礼を申し上げます。

2016 年 3 月末にはジアゾ事業が完全になくなります。このような時こそ業界団体の役割は大きなものがあります。地域の協同組合、全国の複写連、それぞれが力を発揮し、それを結集させて新しい時代を共に創造したいものです。今こそイノベーションの最後の機会です。

副理事長 楠本雅一



河村新理事長より引き続いての副理事長を命じられました。新体制への移行期、微力ながら組合員・賛助会員の皆様方の御要望にさらにお応えできるよう職責を全うする所存でございます。また 2016 年秋には、近畿複写産業協同組合がホスト役として複写連全国大会が開催されます。全国の仲間一人でも多くの御参加を頂けるように準備を進めてまいります。少々気が早く恐縮ですが、組合員様、賛助会員様各位におかれましては是非とも御臨席をお願いするものであります。今期も組合諸行事の御参加を何卒よろしく願いいたします。

副理事長 福味正俊



第52回総会で楠本理事長から第9代目理事長として河村武敏新理事長にバトンタッチされました。楠本前理事長は在任中に超積極的、超躍動的に組合運営でリーダーシップを発揮された事をご存じ通りです。その体制の中で河村新理事長は教育面を中心に賛助会員との連携で教育体系の基礎を築かれました。その手腕・手法で組合のトップマネジメント発揮されると確信しております。

私も新体制の一員とし何かのお役に立ちたいを意を決している次第です。

副理事長 満田 創



このたび、河村新理事長の体制のもと、専務理事に指名されました。大変微力ではございますが、業界のために少しでもお役に立てればと考えております。ご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

専務理事 日笠宏昭



藤島さんも退かれ、いつしか役員中最高齢と相成りましたが、途中へたることなくこの2年間、心血を注いで参る所存です。

どうか組合員の皆々様、組合事務局の皆様、そして役員の皆様方、何卒よろしくお願い申し上げます。

理事 桑田靱比古



この度、理事を務めさせて頂くことになりました異です。

微力ではありますが、河村新理事長のもと組合の発展に少しでもお役立ちできればと思っております。

組合活動に参加させて頂くに関し組合員並びに賛助会員各位のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

理事 異 充雄



組合活動にお世話になっています山脇です。私たちの事業も今後どう変っていくか、難しい時代になりました。従来の紙を中心とした業務から、ネットやそれにまつわるシステムが中心となりつつあります。そのような環境の中でわれわれの業界がどのようになっていくのか。研究テーマがありそうです。これから予想されるであろうことバブルからその崩壊、そして人口減少時代の到来を受け今後どのように変化していくのか。一緒に学びたいと思います。

理事 山脇雅則



第53期理事を仰せつかりました藤田知子です。

この度河村新理事長に代わられ若い理事長にどこまでついていけるか少し不安ですが・・・私なりに頑張りたいと存じます。

私もこの4年間特に組合員の皆様に助けられ無事に任期を終わりほっとしたのですが、河村理事長よりもう一度よろしくとの事、かなり悩みましたがお受けする事にいたしました。かなり未熟な理事ですが、今後とも組合員の皆様、そして賛助会員の皆様どうぞよろしくご協力の程お願いいたします。

理事 藤田知子



新役員を仰せつかりましたコーセイプロス田中です。
微力ですが、お役に立てるように頑張っていきますのでよろしくお願いします。

理事 田中義雄



第52期通常総会の役員改選にて先期に引き続き理事職を賜りました関でございます。
河村新体制のもと、広報（写真撮影）と京都地区を担当として、
微力ではございますがお役に立てればと存じます。よろしくお願い申し上げます。

理事 関 雅夫



理事に再任されました佐々木でございます。河村新理事長のもと、引き続き複写連への対応を担当させていただきます。特に今期からは、複写連本部事務局の機能を近畿事務局にて受託運営して参ることになります。当事務局にはその責務を果たすに足る十分な能力がありますが、未経験分野ゆえの不安もあろうかと存じます。担当理事として精一杯の支援をして参りますのでよろしくお願い致します。

理事 佐々木洋之



今年度から理事を務めさせていただきます、オーエムカラーコピーの小野です。
経営環境が一段と厳しさを増してきつつある昨今、私ども一同一層に組合活動に専心する所存でございますゆえ、何卒倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

理事 小野正治



第52期通常総会で新理事に選任されました大和写真工業株式会社の鶴井でございます。
はなはだ微力ではございますが、河村新理事長の下、少しでも組合員皆様のお役に立てるよう精一杯努力精進致す所存です。どうぞ暖かい目で根気よくご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

理事 鶴井宏尚



今回、役員改選により新体制となりました。組合員各社様がこれからの複写業のあり方を考えて行くお役に立てれば良いと思っております。今後とも御指導の程、よろしくお願い致します。

監事 浅見善和



この度、監事の役職を仰せつかりました。不慣れですが先輩諸氏のご指導のもと務めさせて頂きます。

監事 阪木道生

懇親会ご歓談の様子

1. 前理事長挨拶 楠本雅一
2. 新理事長挨拶 河村 武敏（新理事長紹介）
3. 日本複写産業協同組合連合会会長挨拶 森下修至様
4. 来賓ご挨拶 大阪府中小企業団体中央会 山口春夫様

本日は通常総会を滞りなく終了され盛大に懇親会を開催されまして誠にありがとうございます。

また、楠本前理事長様は2期4年ご苦労様でした。また河村新理事長様におかれましては若い力で業界振興発展の為に尽力頂きたいと思えます。私と河村新理事長様とは他の業界でも懇意にして頂き親しみのある方だと思っております。中央会では組合様の事業計画や組合が抱える問題に対して専門家の派遣等を行っております。昨年近畿複写産業協同組合でも活用頂きました。引き続きご活用下さい。

又今年度もものづくり補助金 1020 億円予算が有ります。大阪では第一次公募数 1626 件ありました。第2次も7-8月上旬締切で行われますのでサービスの皆様も活用頂きたいと思えます。また協同組合が組合員様と一緒に成る革新的事業においても補助金があります。現在1社しか応募が出ていません。是非ともご活用下さい。最後に近畿複写産業協同組合益々のご発展を祈念申し上げ、ご臨席の方々の益々のご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

来賓ご挨拶 富士ゼロックス㈱富士ゼロックス西日本㈱米山俊治様

第52期通常総会が無事終わられました事おめでとうございます。また今回は新体制の発足が承認されたとの事改めてお祝い申し上げます。前楠本理事長におかれましては2期4年の内に50周年記念式典や新しい方向性としてPOD事業へかじ取りをする等協同組合の活動の変革期にあたり、かじ取りの難しさがあつたのではないのでしょうか。まさに力強い血の通った絆の強い協同組合を作りあげられたと感じております。そしてその後を継ぐのが河村新理事長ですが、先ほどの挨拶を聞いて過去をちゃんと知りながら考え抜いて皆さんをリードしていくとのこと適任だと思ひました。新しい体制の中で新しい方向性に向けて我々自身も微力ながら応援をして参りたいと思ひます。2年間新しい体制で頑張ってください。

来賓ご挨拶 リコージャパン株式会社太田謙治様

第52期の総会並びに懇親会開催誠にありがとうございます。また、前理事長の楠本様お疲れ様でした。又新理事長並びに新役員の皆様よろしくお願い申し上げます。私事ですがリコーも来年2月に創設80周年を迎えます。リコーは理研から感光紙を譲り受けて、理研感光紙株式会社としてスタートしましたが、来年感光紙の販売を終息するということは感慨深いものがあります。感光紙は百数年にわたって販売されてきましたロングセラー商品ですが、他には一番長い商品は「宇津救命丸」1597年発売、「養命酒」1600年、「三ツ

矢サイダー」1884年「森永ミルクキャラメル」1894年「カルピス」1919年発売と

のことで、感光紙はベスト10に入る製品だったんだと感慨深い思いがします。昨年お話ししましたように世界共々ノンアセット方向へ進んで行くと思ひます。お客様が資産を持たない方向だと販売が難しくなってくる。逆に



資産を我々が持ちお客様から受けた仕事を提供するサービスのビジネスへと
なっていくと思われる。そうすると1社だけでは運営していくことは不可能と
思えるので、連合軍として立ち向かっていかなければならないビジネスではな
いかと思います。近畿複写産業協同組合はその連合軍ですので横のネットワー
クを組んで、お客様のニーズに答えていく事が重要になってくると思いますの
で我々も微力ながらその軍として頑張っ参りたいと思います。河村新体制の
下頑張っ参りましょう。どうぞよろしくお願い致します。

乾杯のご発声キャノンマーケティングジャパン株式会社清成信也様

近畿複写産業協同組合皆様には大変日頃からお世話になります。また、本日第
52 期総会が無事終了して新しい体制が発足したとのことおめでとうございます。楠本前理事長ご苦労様でした。
また、河村新理事長のご挨拶を聞いて今後の近畿複写産業協同組合の活躍が約束されたなと若々しくて色々なアイ
デアが一杯出てきそうな印象を受けました。世の中は変化して参りますが変化を先取りしていく姿勢を持って臨め
ば必ず成功に結び付くだろうと言われていいます。時代は変わりながら新たなサービス提供が産まれてくると思いま
すので私ども賛助会員としましてそんな中皆様方のお役に立てたら幸いと思います。近畿複写産業協同組合様の
益々のご発展を祈念致しまして乾杯とさせていただきます。

賛助会員様の御紹介

(有)エムアールデジタル

前田義和様

これからも一生懸命頑
張りますのでよろしく
お願い致します。

(株)フジテックス 竹

内良太様 よりよい
商品を提供して参り
ますので今後ともご
指導ご鞭撻の程よろ
しくお願い致します。



(株)ムサシ新妻一俊様 アピックスの河村社長がこれほどの重責を担う
方だとは存じませんでした。心入れ替えてお付き合いさせていただきます。

(株)共同紙販売ホールディン
グス 西岡正樹様 新しい
スタートを切られるとい
う事で今後ともよろしく
お願い致します。

ダイヤモンド(株)中山直
幸様 山本商会の時よ
りお世話になっており
ます。これからもよろし
くお願い致します。

コニカミノルタビジネスソ
リューションズ(株)治田時彦
様 河村新理事長は元 OB
会社におられたことす
ので今後ともご指導ご鞭撻を
お願い致します。

中締めご挨拶 福味副理事長

リコー感光紙がいよいよ終わりを迎えます。

後8カ月ですが、この機会にゼロックス様リコー様よい機械を我々に提
供して頂きたいと思ひます。それでは新理事2名を紹介しします。

新理事：大和写真工業(株)鶴井宏尚氏「幽霊部員だった私が理事になっ
てよいかとは思ひますが河村新理事長の下、微力ですが頑張りますのでよ
ろしくお願い致します。」

新理事：オーエムカラーコピー(株)小野正治氏「近畿複写産業協同組合と
私は、1963年7月生まれ、52才です。私も業界に入りまして20年ア
ナログからデジタルへ移り変わるのを見つめて参りましたので、この度理事になりまして、皆様の為
に頑張りたいと思ひますので、よろしくお願い致します。」

そして、来年の秋、日本複写産業協同組合連合会全国大会近畿で開催致します。
楽しい会を新理事長の下で開催ししますのでよろしくお願い致します。



総会中「選考委員会」



総会中「理事会」



ご歓談中



専務理事 司会バトンタッチ



最後は1本締め



組合員様、賛助会員様、理事、事務局、皆様の御支援に心から 感謝いたします

近畿複写産業協同組合
八代理事長 楠本雅一



今期をもちまして近畿複写産業協同組合理事長を退任することになりました。在任中は組合活動に多大の御支援と御協力をいただき皆様に心から感謝いたします。

いま、4年前の理事長就任の挨拶を思い出しています。

「自分が伝統のあるこの組合の理事長になるなどとは夢にも思っていませんでした。自分にこの大役を担えるのか。能力はあるのか。さらに能力は当たり前であり、人としての徳がなければ大役は務まりません。それはあるはずもない・・・書棚の組合 30 年誌をしっかりと読みました。」から始まりました。

歴史を学び、協同組合の価値を深く考え自分のミッションやポジションが明確になり、理事長としての仕事が始まりました。2 期 4 年間、私は組合 50 有余年の歴史のなかにいて 8 代目理事長としてそのピリオドを打つことができました。組合価値をさらに高め、その系譜を切らさない事が一番の役割として就任したことを思い出します。今期の総会にて、河村武敏 9 代目新理事長に駅伝ランナーとして棒を繋ぐことができました。ようやく肩の荷を降ろすことができました。

理事長在任期間はまさしく邯鄲の夢でした。就任当初に 2 期 4 年間で答えを出すことを自分に課しました。4 年間あれば大概の事ができる。4 年間でできなければ自分の力不足である。4 年間という期間は理事長として戦略構築と施策実施の職責を果たすには十分でした。基軸となる戦略の仮説から始まり、具現化するための施策を理事会で議論しました。もちろんそれは独りでなし得ることではなく、多くの同志相棒の御協力をいただき役割分担も幹部理事によってすすめていただきました。

組合運営の基本方針は「革新、そして進化」と決定しました。この言葉は組織のレゾナントを継続させるためには永遠の課題です。組織のなかに常に革新への準備があつて、革新精神を文化とする組織は価値を創出し続けるでしょう。

これらの思慮のうえに、A～E の活動指針のもと具体的に各種施策を実行しました。そしてこの 4 年間、最後まで戦略の基軸はぶれませんでした。

A：声を聴く。すべての組合様・賛助会員様を訪問。その声を根こそぎ拾い施策に反映する。

B：事務局機能の強化。副理事長を事務局担当理事とし教育とマネジメントを実施。あわせて組合員様と賛助会員様への接点強化を推進。情報受発信機能を高める。

C：既存の諸事業の見直し。新基準により事業の廃止・継続・新規。予算の再検討。会員に寄り添う事業の推進。組合創立 50 周年記念事業の実施。

D：ポストアジア戦略として POD 市場創造を推進。賛助会員様とより密な互惠関係を構築。

E：組合次世代育成の積極的推進。教育事業の実施。集まる場。

4 年間の夢から覚めると高粱はまだ煮えていませんでした。

邯鄲の夢の主役の蘆生が「夢のような人生」を夢みて、夢から覚めると、眠る前に鍋に入れた高粱がまだ煮えてもいなかったという故事です。蘆生の泡沫の夢と私の 4 年間は似たものであるかもしれません。しかしその夢を漠たる夢と終わらせず、少なからずその輪郭を明瞭にして実体を与え、僅かといえど業界への効果を実現できたこともあります。それは理事はじめ組合運営に関わる方々のお陰です。深い感謝の念に満ちています。私の相棒たち、彼らのことを本稿において言挙げせずにはいられません。紙数をお預かりいたします。



理事長就任早々に福味・桑田両副理事長に同行していただき組合員様を訪問させていただきました。このお二人

によって理事長4年間が始まりました。訪問の記録は小誌「聲を聴く」にまとめ配布させていただきました。さらに訪問によって得た印象や情報は、その後の施策に展開させていただきました。両副理事長は陰に陽にずっと私を支えてくれました。私への応援のみならず、両先輩の組合への功績は書き切れません。それは別紙に譲りいつか書きとめます。

異副理事長、満田専務理事には各イベントで緻密な準備から華やかな進行までお世話になりました。イベントの表と裏。それぞれに得意を生かしてお働きいただきました。御両名なくして組合の懇親事業は考えられません。もっともゴルフになると、お客様を忘れて子供のように優勝を狙っていました。いつまでも語り草となりそうです。すこし、大先輩の皆様方の御礼をはさみます。

六藤正治さん（5代目理事長）、満田麗子さんは私の理事長として、業界人として目標であり続けた先輩方です。両師は組合という公的機関の長としての行政手腕はもちろんこと、さらには人としての理想像でもありました。理事長として幾つかの局面がありました。その都度どのようにお考えになれるだろうかということが見えざる基準でした。50周年記念式典に揃って御臨席いただき、その後に組合功労者の座談会での御発言がいまも記憶に深く残っています。益々御健勝であり、これからも時に応じて組合重要儀式にお姿を現していただけることを心より切望いたします。

今期で退任された藤島相談役は時宜に応じて御助言をいただきました。その言葉は多くはなかったのですが、組合運営の微調整に役立てさせていただきました。

会社を定年退職し理事を退任されました松本さん、理事会での大きな声がいまも耳に残っています。仲間の組合員様にもよく声を掛けていただき、組合イベント参加者増大作戦の先頭に立っていただきました。しばらく御無沙汰していますが、お元気でお過ごしのことと思います。

最後の複写業界人ともいえ、その広い人脈は御両者に共通のものです。幹部理事の働きや先輩方の存在は組合活力の象徴であり原動力です。まだまだ相棒はいます。次期理事長として今季から運営の指揮をとられる河村さん。組合主要事業として教育事業を推進して下さいました。あわせて複写連理事として満田さんと共に業界全国組織でも御支援いただいています。教育事業のサポートと共に次世代に声をかけてくれたのが日笠さんであり田中さんです。次世代のために組合は存在するということは、ある面では正しいことです。次世代を考えることにより業界革新の方向が明確になり組合は進化していきます。両名には新理事長の補佐としての活躍が望まれます。

京都からは記録担当として関さんも時間の許す限り参加してくれました。組合事務局の人気者であり、撮影に関しては頼りになるプロです。登場すると周囲を明るく照らすのは持ち前の性格だけではなさそうです。このような方々とは組合の青年部組織であったジュニア会を源流とし、二代目の青翔会や三代目のWillsの仲間でした。私にとって旧知であり頼りになる次代の組合を担う方々です。さらに若い面々に参画いただき新体制が船出をします。多いに御期待下さい。

印象深い理事といえば、山脇さんです。理事会という場を和ませるのか、ぶち壊すのか、よく分からないけれど憎めないお人柄です。きっと前者ですね。私は彼の言葉に勇気を与えていただいたこともあります。それにしても、理事会でのお昼寝は心地よさそうですね・・・(笑)

組合は官公需適格組合の資格があります。松本さんや藤島さんが退いたあと、その重責を一身に担ってくれたのが藤田さんです。理事として紅一点。しかし役割を果たす気概は男勝り。ところが、南大阪方面の組合員様や若い経営者たちへの気配りはやはり女性らしい濃やかな優しさで満ち溢れていました。匂う言の葉の香も盛んにして、山脇さんとは違った意味で理事会に和らぎを添えてくれました。

組合活動を定義する法的諸文書は暫く改訂されなかったために十分とは言えませんでした。私が理事長に就任した時に最も気になっていた大きな課題でした。昨年、組合諸文書はすべて整理され見直されて適法な文書になりました。今後も時に応じて見直す習慣が必要です。

この作業は事務局の献身と佐々木さんの知力と、何よりも強い責任感に担保された御尽力のたまものです。協同

組合という公的機関としての姿を立派にしてくれました。文書博士として佐々木さんの功績は大きなものがあります。また佐々木さんは複写連の頼りになる賢慮の相棒です。私が複写連副会長であるかぎりもう少しお付き合いいただきます。

ここまで理事の働きについて書いてきました。しかし、何と言っても組合事務局の働きが理事を働かせたともいえます。

事務局の主人公の話の前に昨年末に退職した八松純子君の話をします。彼女は滋賀県に嫁ぎました。ようやく仕事も覚えた頃に嫁にいくことになり昨年末に全理事から祝意を贈られました。彼らの前で立派に返礼の挨拶をされた姿を見て感動しました。思い出深い人です。当組合で仕事をされたことは彼女の人生で本当に良かったと思いました。組合という職場で仕事をする事によって成長しました。彼女は事務局・理事のお陰だと涙していました。彼女の代わりに佐藤さんがやってきました。図書館司書の資格を持っています。私が本好きだから採用したわけではありませんが、そういう会話もこれから楽しみにしています。いまは地道に事務局長の指導をうけているところです。これから事務局長を助けて有為の人材となることは間違いないでしょう。

さて、組合事務局の主人は小野恵美子事務局長です。採用当時のことを思い出します。

当時の理事長は桑田さんでした。福味さんと桑田さんと私と三人で数十名の面接を行いました。敢えて詳しくは申しませんが、小野さんは出色の人材であったことを今も鮮烈に記憶しています。もちろん全員一致で彼女の採用を決定しました。

それから数年を経て私が理事長に就任した時、「強い事務局」をつくらなければ組合戦略は失敗すると直感しました。経営者である理事の方々にはおのずと制約があります。彼らに活動していただきやすい事務局機能が重要です。活力ある組合には「濃やかにして優しく、時には強い事務局」が不可欠です。私はそのような組合事務局を「クリエイティブな事務局」と定義しています。事務をただ単に預かる受動的機能でなく、能動的かつ創造的な機能を有する事務局を理想としました。彼女にその資質の在ることは面接の時から承知していました。

あとは公的機関としての協同組合の本質を熟知してもらうことが必要でした。方法としては中小企業組合士という資格取得がありました。取得のために中小企業協同組合法、組合会計、組合運営の三分野の学習が不可欠です。昨年彼女は三科目に見事合格して資格を認定されました。そして、理事会全員の推挙により組合事務局長に就任していただきました。

この4年間、言葉にもならず筆にも書けないほど彼女に助けられました。いまは、理事達を叱咤激励ならず「叱咤調教」しているような感じです。子供に対する母親のような躾ぶりは女性事務局長の特権です。叱咤されながら協力する理事一同の姿を見ていると彼女の逞しさすら感じます。組合事務局に追い立てられないように私を含む理事達は頑張っています。

この景色を見て安心し思いを残すことはなくなりました。

多彩にして有能な理事軍。組合員・賛助会員に寄り添うクリエイティブな事務局。公的機関としての文書整備。そして協力を惜しまない組合員様と賛助会員様。

文質整ったいま、新体制へ委ねることを決意したわけです。

4年間の夢を理事、事務局、組合員様、賛助会員様と共有できたこと、あらためて感謝する次第です。

最後に歴代理事長の在位の足跡を記しておきます。

わたし以前の先達の多くの御苦勞のうえに「いま在ること」を忘れずに、新たな理念と戦略のもと勇猛果敢に第9代の近畿複写産業協同組合の創造に挑戦していただきたいと願うものであります。

初代：藤島 誠一 （1963～1964 年度）

二代：米本 佐一郎 （1965～1970 年度）

三代：河村 敏男 （1971～1976 年度）

四代：幸田 駒一 （1977～1982 年度）

五代：六藤 正治（1983～2004 年度）

六代：藤島 映一（2005～2006 年度）

七代：桑田 鞠比古（2007～2010 年度）

八代：楠本 雅一（2011～2014 年度）

九代：河村 武敏（2015～

諸先輩方、組合員様、賛助会員様、理事、事務局、皆様の御支援に心から感謝いたします。あらためて御礼を申し上げますとともに、皆様の益々の御健勝と各社の御隆昌を衷心より御祈念申し上げます。

本文書を持ちまして近畿複写産業協同組合理事長としての終の稿とさせていただきます。

激動の 30 年を迎えて

日本複写産業協同組合連合会は今年 4 月 3 日創立 30 周年を迎えました。よくぞここまでこの業界が時流の荒波を越えて生き残れたなという正直な感慨を覚えます。21 世紀を迎えた直後アナログの時代からデジタルへ移行すると同時に、社会の仕事の仕組みが大きく変化し、同時に 770 社まで組織化されたこの業界の変革と淘汰が始まりました。

厳しいサービスを要求され仕事そのものの厳しさはあるものの、利益率が高くまた競争する事業団体も少ない時代から一転し、ビジネスとしての面白さが希薄となり業界の縮小化は今も確実に進んでいます。全国的に言えば、北海道から沖縄までの地域組織が既に地域単位で歯抜けと

なり現在 8 組合が活動をしているのみですが、単独で参加する複写連パートナーズ会員は地域組合の減少を補完し今後もその仲間が増えていく可能性も残されています。

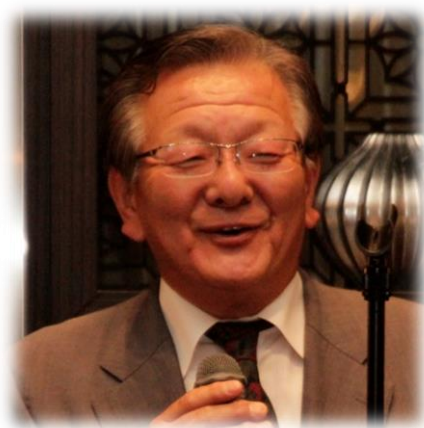
業界が厳しい状況にある時こそ、それぞれの会員と構成する各社が一致団結し、また知恵を出し合い、これからの時代に対応できるビジネスあり方を模索することが肝要で、それに向かい努力していくことが業界のリーダー・組織・構成する各社に課せられた天命であり、結果として次世代にこの変貌する業態をバトンタッチしていく責務を負わされていると自覚を持つべきでしょう。

複写連 30 年の歴史のなかでは大きなリスクを負う厚生年金基金という事業もありました。この事業もバブルの崩壊により、わが国の経済活動が停滞から後退するなかでリスクが顕在化していきました。いまでも苦む業界団体が多くあるのは周知のことです。その時代の変化を捉え確定拠出年金へと完全移行できたことは複写業界にとってはまことに幸いでした。すべからく始める時はよかったとしても、時の流れによって善きことも悪しきことになるのが常です。変化を見つめ、変化に備える事、これが業界団体に求められる智恵です。

組織を取り巻く環境が刻々と変化していくのは決して当業界だけではなくあらゆる業界においても色々な形で大きな構造改革が進んでおり、この様な激動の時代をいかにして乗り越えていくかが業界組織としての根幹的なあり方であります。

この厳しい現実を受け止め、複写連は数年前から「新市場の創成」という命題を掲げメーカー各社と連携し、印刷でも複写でもない「プリントオンデマンド」という思想を社会の中で普遍化する努力を行っています。2014 年 5 月には複写連が監修し「POD ガイドブック」を発刊、業界以外にも POD を積極的に浸透させるツールとして活用されています。

複写加工士認定制度も過去のものとなり、その後の DM 検定制度も中止、直近ではメーカー各社が主催する経営者向け、実務者向けセミナーと連動させた教育制度の採用、またガイドブックをベースに会社全体のスキルアップを目指した「POD e-ラーニング制度」の採用を企画するなど、市場の流れとマッチした対応が可



能であるよう多面的に情報を収集し会員各社の新しい事業計画の糸口となるべくその情報発信にも努めています。

2016 年には「感光紙が生産中止」となり、ここにも業界人が生き残る術の一つが消滅します。逆に言えばその時こそが自社のビジネスモデルを大きく変革させる大きなチャンスの到来と捉えるべきでしょう。アナログからデジタルという今までとは大きなギャップの中で消滅していく同業者も少なくないことは当然予測されます。しかし、このギャップを乗り越えることで「商売人としての知恵と工夫」に一層磨きがかけれ生き残れる努力を怠らないようにしていこうではありませんか。

すでに全国に点在する私たち仲間の中には複写業を脱却し、新しいビジネスに主業を移行している会社も少なくなく、多くの同業の方々もその準備を怠っていないと聞いています。80 年も続いた「複写ビジネスからの巣立ち」こそ、この業界に残された唯一の逃げ道であり、固定化された顧客層からの脱皮を図り、どのようにしたら顧客台帳の数を数倍に増やすことが可能であるか、また、現役の方々がこの業界の先輩諸氏から受け継いだ「途方もないサービス精神という遺伝子」をどのようにして次の仕事に生かすことが出来るのかを考えていくのも大きなポイントであると思います。

私達業界はたとえその絶対数は減少しようとも、様々な工夫を持って生き残りをかけた戦いを激動する社会に向かいしかけていかなければならないのです。

これからも皆様と共に新しい業界への明るい展望を持ち続けていきたいと強く感じているところです。

日本複写産業協同組合連合会会長 森下修至



J P 2015 情報・印刷産業展

平成 27 年 5 月 14 日～16 日インテックス大阪にて J P 2015 情報・印刷産業展が開催され、多くの賛助会員様が出展されました。その模様をお伝えします。

(見学順)

リコージャパン株式会社



RICOH Pro C9110/C9100

安定高品質を実現する新開発安定化テクノロジー搭載。幅広い用紙対応力と、圧倒的な高生産性の実現。

1. HIGH QUALITY & STABILITY : オートイメージキャリブレーションシステム (16 階調のカラーパッチによるキャリブレーション)
: 表裏画像倍率自動補正センサー (ジョブ内での用紙幅と長さの変化を検知し、用紙の収縮に合) わせて画像倍率補正值を自動で調整。
2. MEDIA FLEXIBILITY : 厚紙 400 g / m² ・ 長尺 700mm 自動両面印刷対応
3. HIGH PRODUCTIVITY : 連続プリントスピード 130 ページ/分 (用紙を問わずフルカラー/モノクロ共に可能)



4. USABILITY : 効率的な操作性 (利便性をさらに向上させた統合用紙設定システム)
 5. VARIOUS OPTIONS : 給紙系・排紙系オプション
 6. ECOLOGY : 環境対応 (エコマーク・クリーン購入法・国際エネルギースタープログラム・RoHS 指令適合)
 7. SOLUTION : 多彩な色調整と効率的なプリントジョブ管理
- 新開発の技術により優れた画質安定性を確保し幅広い用紙対応力でビジネス拡大を力強くサポート。高生産性が市場競争力を大きく高めます。

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社

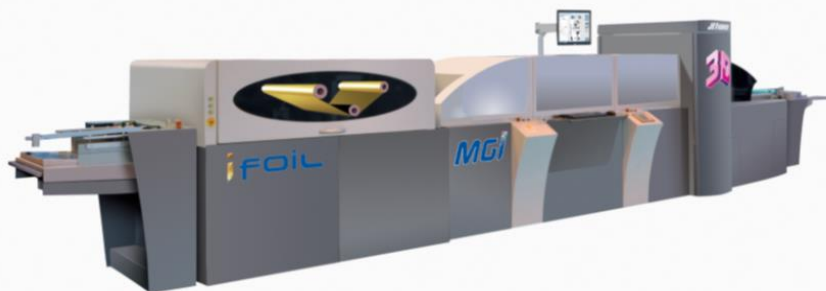
JET Varnish 3D

印刷物に均一な UV スポットニスコーティングと厚盛印刷効果を与える次世代のデジタルスポット UV ニスコーター

デジタル印刷機やオフセット印刷機で印刷された B2 サイズまでの印刷物に対応しています

特色

1. 印刷前準備コスト削減
2. 高い用紙対応力 : B2 サイズまでの用紙と 600g/m² までの用紙厚に対応。
3. デジタル印刷物に直接 UV スポットニスコーティング



4. インクジェット技術 : ドロップオンデマンド方式のピエゾプリントヘッドにより、最小 0.5mm の細線も最大シート幅 (515mm) まで処理が可能
5. 新大容量タンク : 18 リットルのニスコーティングを注入できる大容量タンク
6. UV 硬化 : 内蔵された UV ランプによってその場で乾燥処理

JET Varnish 3D 箔押しオプション「iFOIL」ホットフォイルの箔押し/エンボス加工オプション (iFOIL は、JETvarnish 3D デジタル UV スポットコーターと共に使用)

1. 触覚効果と視覚効果を最大限に活用し、箔押しの最終加工までを内製できる。
 2. エンボス加工のホットフォイルをカスタマイズすることで、これまでにない新しい印刷表現を提供。
 3. レイアウトを A4 サイズから B2 サイズの幅広い範囲で変更でき、印刷加工も 150~600g/m² の素材に対応。
 4. オフセット印刷やデジタル印刷で印刷した後でホットスタンピング加工を行うことが可能。
- これまでにない新しい印刷表現で新しいサービスと高い付加価値をお客様に提供できます



株式会社ムサシ

DC-1 オンデマンド箔押メーカー 小ロットでグロスコートや金箔加工ができます。

特徴

1. 無版で箔転写加工：トナー部分に箔を転写するので型も版も不要。大きな画像や細かい画像も箔で表現可能。箔の色は7色。
2. コンパクトボディ：卓上型。電源 100V。用紙サイズA5～A3
3. 新方式ドライコート加工：用紙全体に透明樹脂

を転写し光沢感を付与。

4. 環境に優しい：古紙再生可能

MP-300 Duo

VISITING CARDS PRINT ON-DEMAND SYSTEM

各種市販カードに最適化したプリンタ

1. 小さくてもプロフェッショナル！
2. 最適な印字品質
3. 信頼の印字位置精度
4. 超コンパクトボディ

MPシリーズで好評頂いている「高速性・高品位・堅牢性」を凝縮した名刺専用機。

ケント紙や再生紙などへも綺麗に印字でき、A4サイズのスペースが有れば設置可能。約9kgと小型軽量化と稼働時の静寂性を実現しました。



ダイヤミック株式会社

オリジナルデザインテープ作成機 **TP-M5000N**

パソコンとこれ1台でオリジナルデザインテープ・リボンがその場で1巻から作れます。

つくる：テープクリエーター専用デザイン作成ソフトで誰でも簡単にデザインが可能。

*WEBからも作成できる。

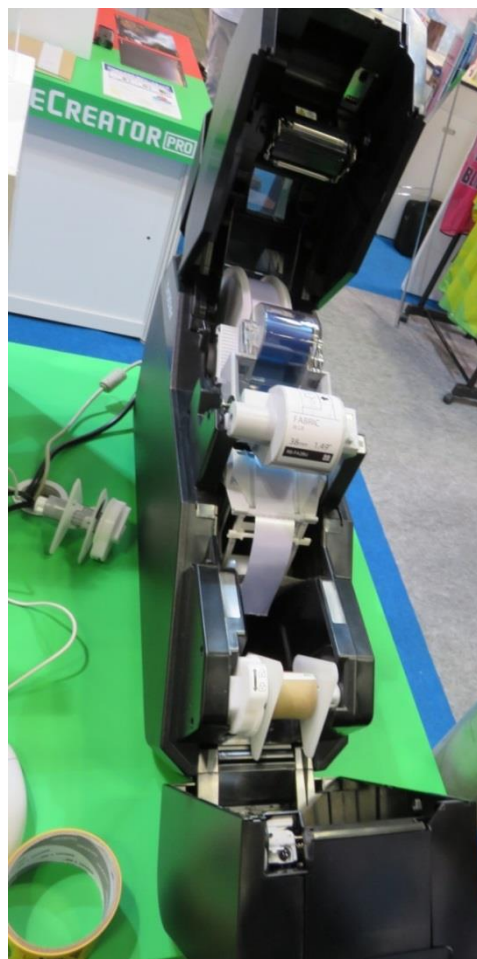
*Adobe Illustrator、Photoshop等のアプリケーションで作成したデザインデータも挿入可能。

*デジカメやスマホで撮影した画像も印刷可能。

*手描きで書いたイラストや文字もデータとして取り込み印刷可能。

貼る：3種類の幅で、色々貼れるから用途も自由自在。

バリエする：組合せ次第でデザインの幅は無限大





*テープ色：白・透明・黄・赤・青各 50mm・38mm・15mm幅

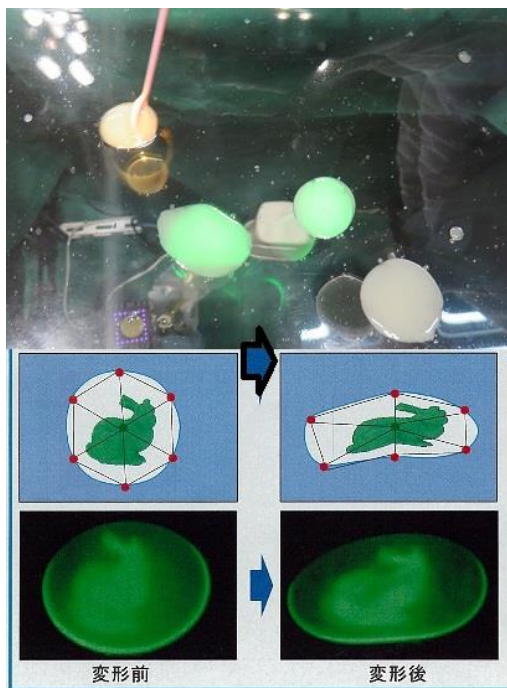
*テープ用インクリボン：黒・赤・青・白各 50mm・38mm・15mm幅

*布リボン色：白・ライトピンク・ライトブルー各 38mm・15mm幅

*布リボン用インクリボン：黒・赤・青各 38mm・15mm幅

テープ・リボンそれぞれの素材をデザインに合わせて自由に選び世界に一つだけのオリジナルデザインテープを作成できます。

D. D. S. S デジタルドキュメントサービス研究会



異業種で構成された自主運営組織で先進情報の展開や研究会活動を通して会員各々が相互研鑽する会です。

ローカルからワールドワイドまでの先進情報の先取りをします。

①経営革新研究会

②ビジネス・マーケティング研究会

③組織・人材活性化研究会

Oil Bubbie Display (大阪大学・京都大学・関西学院大学)

透明な水槽にオイルバブルを浮かべ自由に形状変形・結合・分離させ、それらに赤外線により計測したオイルバブルの位置と形状に合わせた映像をプロジェクタにより投影するシステム。

例えば、形状操作ではオイルバブルを変形させるとそれに伴って投影されたものが変形する。イベントなどで利用すると楽しいと思われます。

キャノンS&S IT Solution Forum2015 in大阪開催



平成27年5月19日～20日 キヤノンマーケティングジャパン(株)大阪支店にて開催

クレームを見方につける対応力～一人ひとりにあわせたおもてなし対応でクレーム客をリピーター客に～

講師：(株)A&Mコンサルタントコンサルティング部

専門コンサルタント 岡亜希菜氏

クレームとは・・・企業とお客様とのギャップによって信頼・期待が損なわれた時に発生するもの。しかし、貴重なお客様の生の声(企業・商品の問題点、お客様の意識や要望、改善すべき点)。

クレーム対応の流れ・・・落ち着いて話が出来る環境づくり⇒話をよく聴いて事実確認⇒解決策を提案(了承確認)

⇒最後にもう少し歩み寄る⇒感謝の言葉

おもてなし対応でクレーム客をリピーター客にするには・・・

お客様の心理を汲み取る⇒おもてなしマインドを持って対応する。⇒共感力で感情不満を静める
⇒聴く力（積極的傾聴）でお客様が抱えている不満を見つける ⇒話す力を高めて納得できる解決策を伝える

展示紹介：キヤノン MJ の 3D ソリューション戦略の要素：3D プリンター

ProJet 3500 SD&HD プロフェッショナル 3D プリンターシリーズ

高品質で耐久性のあるプラスチックパーツをエンジニアリングやメカニカルデザイン用に機能テスト、コミュニケーション、ライブッドプロトタイピング、デザイン。コミュニケーション、ラピッドツーリング他多くの用途に利用可能。

ProJet x60 シリーズ プロフェッショナル 3D プリンターシリーズ

世界最速・コストパフォーマンスの最も高い、本格的フルカラー3Dプリンタ。

- * 唯一のフルカラー機能
- * 世界最速のプリンタ速度
- * 大型パーツ作成可能

3Dプリンタは試作作成において短納期、低コストに貢献した従来の金型では創りえなかった形状や構造の制作を可能にした。また、材料を変えて軽量化も可能です。

CubePro™			ProJet®シリーズ		
					
CubePro	CubePro Duo	CubePro Trio			
¥368,000	¥408,000	¥468,000			
カテゴリ	パーソナル3Dプリンタ		プロフェッショナル3Dプリンタ		
主な用途	ホビー・教育用・デザイン確認		建築・デザイン確認・鋳造・治具		
製品名	CubePro™		ProJet® x60	ProJet® 4500	ProJet® 3500
材質	ABS、PLA ナイロン		石膏	プラスチック	アクリル
価格	約50万円		約200～ 1500万円	約1200万	約900～ 2000万円





今回のテーマは”初夏を感じて頂く”です。

抹茶の レアチーズケーキ



材料(12 個分)

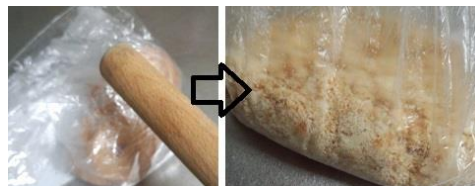
- | | | | |
|------------------------|---------------------------|----------------|------|
| 1. クリームチーズ | 400g | 2. 抹茶 | 30g |
| 3. 生クリーム | 180cc | 4. 粉ゼラチン | 12g |
| 5. ヨーグルト | 100g | 6. 粉ゼラチンを溶かす用水 | 90CC |
| 7. 砂糖 | 100g (上白糖・グラニュー糖でも可) | | |
| 8. 檸檬汁 | 30cc (柑橘系なら OK) | | |
| 9. 市販クッキー | 200g位 (好みのクッキーで土台用。無くても可) | | |
| 10. 無塩バター | 50g (無塩マーガリン可) | | |
| 11. 甘納豆やレモンバームの葉 (飾り用) | お好み (無くても可) | | |



作り方 (制作時間約 40 分。但し、冷蔵庫で固める時間を除く)

準備としてクリームチーズを常温に戻す。粉ゼラチンは水でふやかしレンジで温め溶かす。

1 土台のクッキーを袋に入れて砕き、溶かしバターを加えて柔らかく混ぜ、容器の土台に敷き詰め冷蔵庫で固めておく。



2. クリームチーズに砂糖を加えよく混ぜる。

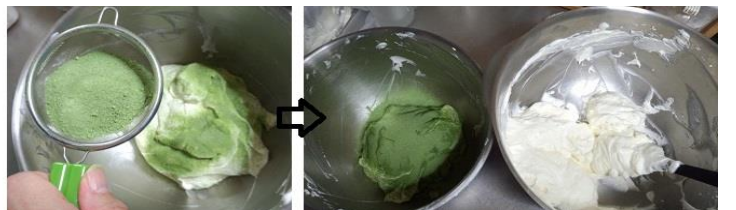


3. そこへヨーグルト、檸檬汁を加えて混ぜる。



4. 生クリームを泡立て 3 へ加える。

5. 2等分し1つには抹茶を加えて混ぜる。



6. 各々にふやかしたゼラチンを半分ずつ加えて混ぜる。



7. 各々を絞り出し袋に入れる。



8. 冷蔵庫で土台を固めた容器へ先ず抹茶の方を絞りだし次に白色を絞り出す。



9. 飾り付けとして、抹茶の粉を振り掛けたり甘納豆を飾りレモンバーム等ハーブ類を飾ると涼しげです。
飾り終え冷蔵庫で固めれば完成です。



組合日誌

平成 27 年 5 月 25 日第 569 回理事会を開催しました。

報告事項(各担当理事)

1— 1 . 第 568 回理事会議事録の報告

承認した旨報告されました。

1— 2 . 事務局より報告

・ゼロックス製品紹介販売キャンペーン結果報告

5/25 販売キャンペーン手数料及び特別支援金着金ありました。

・ (株)英光産業本社移転

・キャノン製ジアゾ機の件

ジアゾ機廃棄等に関する相談がありましたので上野様へ相談しています。対応についてキャノン様からご提案を受領後、今後の対応について審議します。

リコージャパン様へ販売キャンペーンの実施の声掛けをします。

・出資変更登記 4/30 終了(60 社 147 口)

・共同受注事業、公共建築室との単価契約ならずでした。

2. 協議事項(各担当理事)

2— 1 . 総会・総会後懇親会出欠・進行について

* 5/25 現在総会には役員・組合員本人出席 37 名、委任状出席 28 名、合計 60 名全員の出席予定です。懇親会は組合員・賛助会員含め昨年同数 84 名御参加申込有りました。

* 席表について島田様の変更と、及びテーブル No.を変更します。

* 今年は総会議案として役員改選があります。その流れを確認しました。変更箇所を確認し、次回理事会にて再確認頂きます。

* 懇親会次第について新旧理事長挨拶後、新理事長により新役員紹介をします。

* 総会時の飲み物提供のタイミングは選考委員が離席した時に行なう。

2— 2 . コニカミノルタセミナーの件

7/2 サービスビジネスとしてのお話を頂きます。役員の方はご出席をお願い致します。

13:30 西本町インテスビル 13 階会議室

14:00～セミナー「企業はコピーセンターいりません。自前ですべてやる必要なし。キンコーズで受け付けます」

bizhubPRESS C1100/1085 紹介

15:30～16:15 懇親会

3— 3 . 製本表紙(ダイヤボード等)値上げの件

共同紙販より表紙を 10%程値上げしてほしいとの事。資料の様に粗利率が 5.50～13.4%ですので仕入値上げ率を含めません。従って同率の値上げをします。

3— 4 . 富士ゼロックス(株)チラシ配布について(今後の対応も含めて)

賛助会員様の活躍の情報提供になるのでチラシを配布します。

3. その他 日本複写産業協同組合連合会 5/13 理事会報告

* 近畿複写産業協同組合へ複写連事務局移管の件につき、よろしく願いしますと声を頂きました。然しながら複写連事務局の仕事内容が今一つ把握できていません。

* 6/25 複写連の総会に小野事務局員は同席し、翌日浦田氏と仕事内容の引継をします。

* 事務委託費として月間 20 万円を予定し、IMNと近畿の仕事の割合分担により按分します。その内 401K関連の事務は引き継がない為 401K関連の事務費は発生しません。

* 9 月頃に複写連理事会を近畿複写産業協同組合で行います。その後懇親会を設定しますので役員の方々の御参加をよろしくお願い致します。

平成 27 年 6 月 3 日第 570 回理事会を開催しました。

1. 報告事項(各担当理事)

1— 1 . 第 569 回理事会議事録の報告

2. 協議事項(各担当理事)

2— 1 . 総会・総会後懇親会について最終確認

2— 2 . コニカミノルタセミナー参加申込の件

3. その他 ・7 月 24～25 日役員研修会の出欠再確認の件

平成 27 年 6 月 3 日第 571 回理事会を開催しました。

1. 協議事項

1— 1 . 新理事長選出 河村 武敏氏

1— 2 . 新理事長による三役指名

筆頭副理事長 楠本 雅一氏

副理事長 福味 正俊氏

副理事長 満田 創氏

専務理事 日笠 宏昭

指名後各人は受任した。

お願い:

本紙は組合員様に組合活動を出来るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。お手すきのお時間にご
回覧頂き、是非ともお読みください。

発行:近畿複写産業協同組合
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋 1 丁目 5-6
TEL06-6201-4766
FAX06-6201-4768
発行責任:楠本雅一
監修責任:桑田鞠比古
編集制作:小野恵美子
問い合わせ:info@kinkifukusha.sakura.ne.jp

編集後記

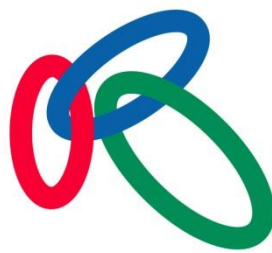


第53期、河村理事長以下役員13名、監事2名でスタートを切ることと相なり
ました。何と言ってもこの期の一大イベントは、来年11月に行われる複写連全国大
会「近畿大会」です。組合員の皆様方のお力添えで、盛大に且つ賑々しく行われん
ことを切に期待しています。何ともはや気の早い話(鬼が笑うかも知れませんが・・・)
で申し訳ありませんが、絶大なるご協力を賜われますよう、今よりお願い申し上げ
ます。

(記・桑田)

今年は新理事長が選出されました。河村理事長です。先の4年間は、教育事業委員
長を担当されていたので事務局との関わりは多かった方です。私と同じく余暇にテ
ニスをされるとの事。今年の新事業の一つに組合員との懇親に「テニス教室」など
を企画してほしいなと密かに思う事務局です。また新たに役員になって頂いた方も
おられます。これから色々お世話になると思いますがよろしくお願い致します。

(記・小野)



近畿複写産業協同組合